



里山たより

2020年6月 第238号

発行：里山クラブ可児

代表 大鹿 広光

編集、校正：里山クラブ可児

広報 大見 昭敏

1、活動報告

5/6（水プロ） 参加会員：0名

不要不急の外出自粛の要請に従い、合わせて天気も思わしくなく活動は休会となりました。

5/7（自主活動） 参加会員：4名

行政よりの外出自粛要請は出ておりますが稲作は、待ってられませんので三蜜を意識しながら有志会員での自主活動で苗田の覆いをネットに交換して稲の苗の成長を促すようにしました。



5/13（水プロ） 参加会員：9名

里山クラブ可児独自の活動自粛目安としての5/10が過ぎ朝から良い天気にも恵まれた日となり9名の会員が参加してくれました。

夢工房の改修後の整理整頓と、里山農園や田んぼビオトープ周り、ブルーベリー畑廻り、芝生広場廻り、進入道路脇の電柵や山側廻りの草刈りを行いました。



5/17（例会） 参加会員：20名

昨日の雨もすっかり上がり朝から良い天気にも恵まれると共にやっとコロナ対策の外出自粛が解除と

なり自宅待機を余儀なくされていた元気一杯の会員が20名参加してくれました。

今日は、女性会員が岐阜県に出されていた緊急事態宣言の緩和を受けてほうば寿司の振る舞いをしてくれることになりました。そこで男性会員は、ささやかなバーベキューでおもてなしをして久しぶりに会員相互の親睦を図りながらの外ご飯を堪能しました。

それでもコロナに対して気を緩めることなく密集状態や密接状況での会話には注意する事にしました。

5/20 (水プロ) 参加会員：10名

朝からスッキリと晴れ渡り若葉の緑も眩しい中、10名の会員が参加してくれました。

今月末の田植えに合わせて苗抜きを行いました。今年は、餅米の苗が思うように成長してくれなくてやむおえず農協から苗を購入することにしました。



5/24 (例会) 参加会員：25名+こどもの庭会員：5名

今日の例会は、ビオトープ田んぼの田植えを行うという事で30名の会員が参加してくれました。

棚田の上の段から3枚をうるち米、残りの4枚には餅米を参加会員が手慣れた手つきで頑張りなんとか午前中に7枚の棚田全部を植え終える事が出来ました。

昼食は、女性会員がおにぎりと豚汁を作って振る舞ってくれました。全員が豚汁を2杯3杯とお替りして田植えの疲れも癒されて楽しい昼食会となりました。



5/27 (水プロ) 参加会員：10名

晴れの予報に合わせて自粛解除を待ってましたとばかりに10名の会員が参加してくれました。先日の田植えも無事に終わり今日は、植えられた苗の補修や追加作業と田んぼの畦の草刈り作業そしてビオトープ池の橋の補修工事を並行して行う事が出来ました。



2、5月度の我田の森への入山人数

1、里山クラブ可児会員	83人 (累積：150人)
2、自然育児こどもの庭 (親と幼児)	124人 (累積：186人)
3、講座	0人 (累積：0人)
4、行事	0人 (累積：0人)
5、外部団体	0人 (累積：0人)
6、協力団体 (岐阜森林愛護隊)	0人 (累積：0人)

令和2年度の累積入山人数：465人

3、活動予定

1、例会：6/21, 28 (日曜日)

夢工房周辺の草刈りと併せて雑木林の常緑樹の除伐を予定しています。

2、水プロ：6/3, 10, 17, 24 (水曜日)

稲の育成管理、田んぼ周辺の草刈り、芝生広場の保全作業等を予定しています。

3、行事、講座：特に予定されていません。

以上 238号